

教員養成教育認定評価開発研究の推進

調査等の概要

◆課題認識

- ・ 学士課程の教員養成教育の評価は、これまで認証評価のような法令上の制度が講じられていない。
- ・ 教職課程の質保証・向上の取組の重要性。

◆調査研究の目的

- ・ 教員養成機関に教員養成教育認定基準等を提供し自己分析活動を提案する。
- ・ 自己分析書を機構ウェブサイトに公開し各機関の取組を広く共有する。
- ・ 教職課程の実現可能な第三者評価のあり方について検討を行う。

◆対象

- 小一種・中一種教員免許状の教職認定課程を有する学部相当の教育組織
- ・ 教員養成教育認定基準、自己分析書作成の手引き等の送付
- ・ 自己分析活動に関する意向調査の実施

◆自己分析活動の促進・普及活動

- ①教員養成機関訪問による説明
- ②支援ツール（解説動画）作成
- ③フォーラム「教員養成教育の自律的な質保証に挑む」開催

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- 1 教職課程における自己分析（自己点検・評価）の実施の提案 送付1, 339件
 - ・ 「自己分析書作成の手引き」等送付
 - ・ 自己分析活動に関する意向調査
 - ・ 217機関から回答
 - ・ 自己分析活動の促進・普及
 - ①教員養成機関訪問・4機関を訪問
 - ②支援ツール（解説動画）・5種作成
 - ③フォーラム「教員養成教育の自律的な質保証に挑む」・3月2日(土)開催
 - ・ 自己分析書を機構ウェブサイトに掲載する準備
- 2 教職課程に係る実現可能な第三者評価のあり方の検討
 - ・ 「教員養成教育認定評価開発研究推進会議」の開催・期間中4回開催



フォーラム「支援ツール（解説動画）説明」

◆成果

- ・ 自己分析活動の提案に21の教員養成機関から「着手の意向あり」の回答
- ・ フォーラムに国公私大教職課程担当者ほか97名が参加 11名が自機関で取り組む意向

今後の課題

◆コストを抑え、しかも有効な「教員養成教育認定評価」の実現

- ・ 自己分析活動の効果を格段に高めるとされる外からのフィードバックを導入した教員養成教育認定評価の開発。コストの抑制に努め、しかも有効な方法を。
- ・ 自律的な自己分析活動から第三者評価として実現可能な教員養成教育認定評価へ。